



2026年9月5日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

9,660万kW

13時30分、96,595 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

3,889万kW

11時、38,894 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

109万kW

22時30分、1,090 MW

◇ 再エネ最大需要比

53.5%

11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

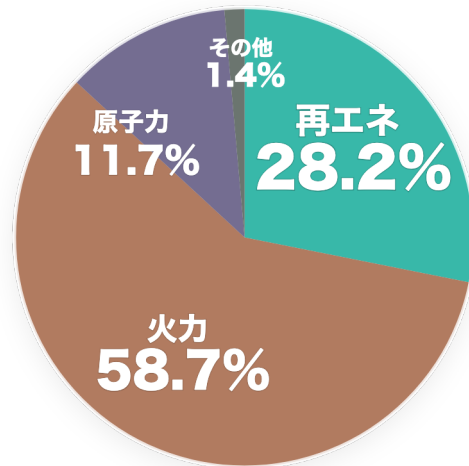
東京

130 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

116 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 47.2%

34.7 GWh

出力抑制量

14.5 GWh

最大: 東北 7.2 GWh

揚水・蓄電の充電

57.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:00に3,092万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで47.2%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、中部、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	28.2%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	594 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,111 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	53.5%	11時
出力抑制量	14.5 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	57.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	47.2%	34.7	1.3	送電 4.9
東北	35.1%	106	7.2	送電 116
東京	20.0%	109	0.0	受電 130
中部	38.0%	94.4	0.4	受電 73.2
北陸	40.3%	33.1	0.0	送電 18.2
関西	20.8%	66.3	0.0	受電 40.6
中国	26.6%	45.4	2.3	送電 20.4
四国	24.5%	23.1	0.0	送電 34.3
九州	32.0%	79.8	3.4	送電 26.1
沖縄	9.7%	2.7	0.0	—



2026年9月5日の供給実績

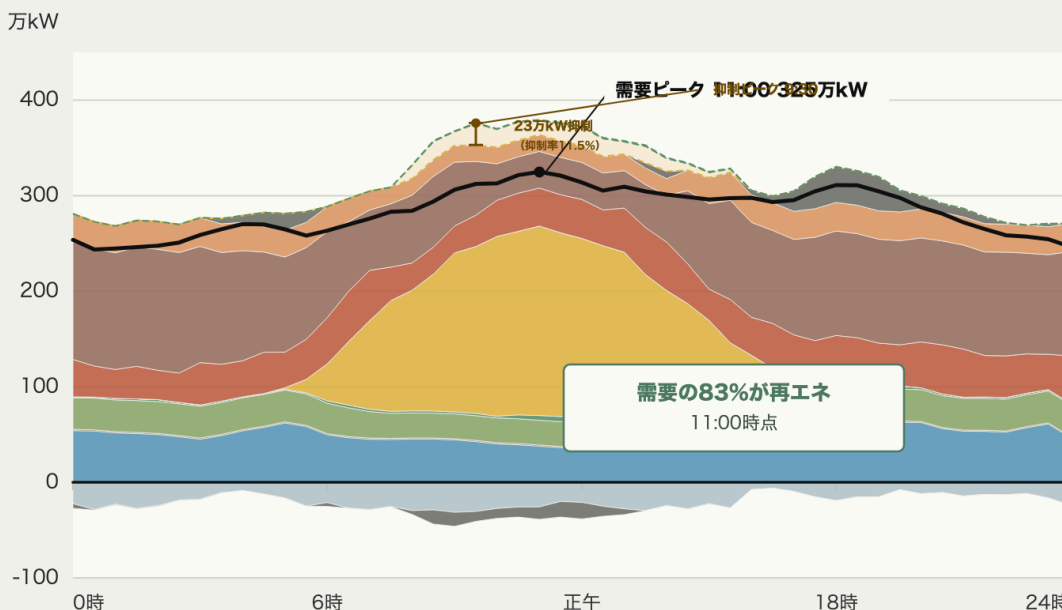
北海道エリア

再エネ

34.7GWh

(発電電力量ベース47.2%)

北海道エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 74GWh
(736万kW)

再エネ	34.7GWh (47.2%)
太陽光	14.3GWh (19.5%)
水力	11.9GWh (16.2%)
風力	0.8GWh (1.1%)
バイオマス	7.4GWh (10.0%)
地熱	0.3GWh (0.4%)
LNG火力	9.8GWh (13.4%)
石炭火力	21.5GWh (29.2%)
石油等火力	6.0GWh (8.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.5GWh (2.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	1.3GWh
太陽光	1.2GWh
風力	0.1GWh
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量) 出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

73.6GWh

需要ピーク

11:00、325万kW

連系線・その他

4.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

1.3GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク198万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は82.6%だった。



2026年9月5日の供給実績

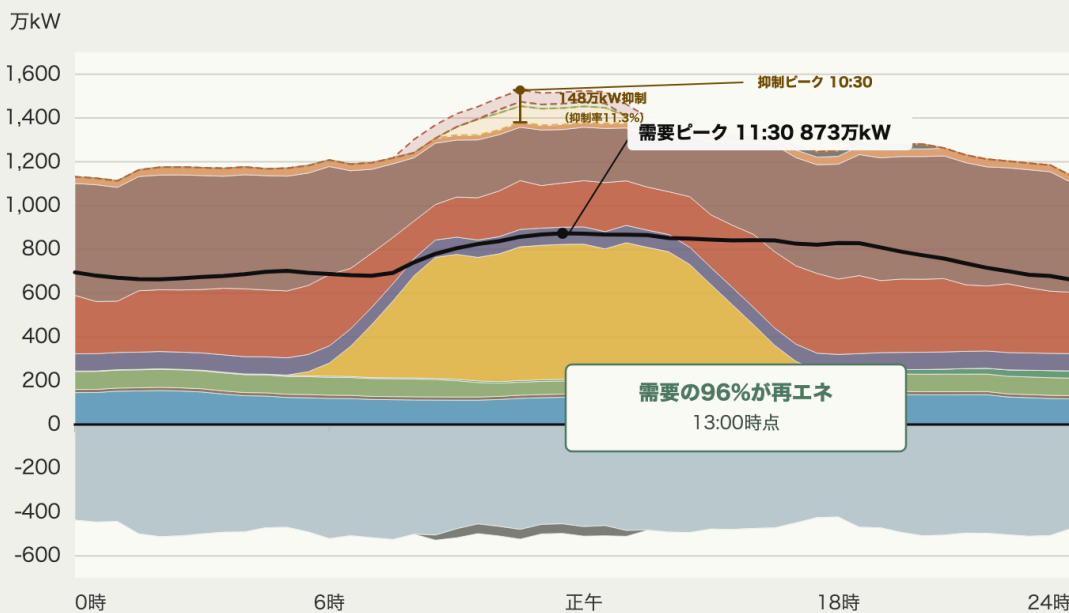
東北エリア

再エネ

105.6GWh

(発電電力量ベース35.1%)

東北エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 301GWh
(3,008万kWh)

再エネ	105.6GWh (35.1%)
太陽光	49.8GWh (16.6%)
水力	31.3GWh (10.4%)
風力	2.6GWh (0.8%)
バイオマス	18.5GWh (6.2%)
地熱	3.4GWh (1.1%)
LNG火力	65.1GWh (21.6%)
石炭火力	103.2GWh (34.3%)
石油等火力	7.2GWh (2.4%)
原子力	18.9GWh (6.3%)
揚水・蓄電	0.8GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	7.2GWh
太陽光	2.9GWh
バイオマス	0.6GWh
火力	3.6GWh
抑制率=出力抑制量/(発電電力量+出力抑制量) 出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

300.8GWh

需要ピーク

11:30、873万kW

連系線・その他

115.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.0GWh

出力抑制

7.2GWh

概況

東北は、太陽光ピーク619万kW、風力ピーク33万kWで、時間別の再エネ最大需要比は98.0%だった。



2026年9月5日の供給実績

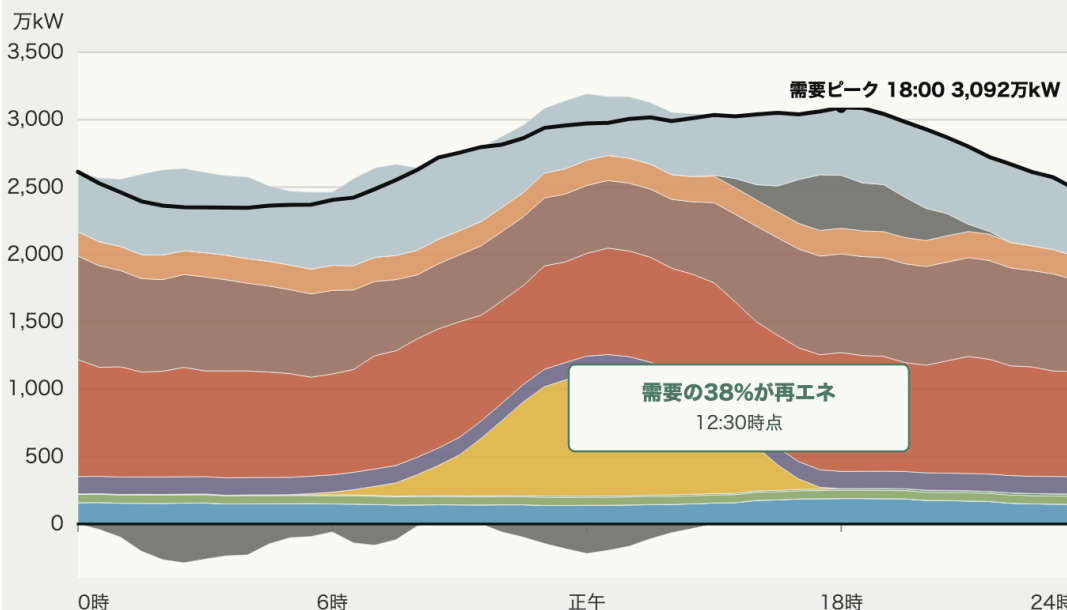
東京エリア

再エネ

109.2GWh

(発電電力量ベース20.0%)

東京エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 545GWh
(5,455万kW)

再エネ	109.2GWh (20.0%)
太陽光	55.1GWh (10.1%)
水力	37.3GWh (6.8%)
風力	2.2GWh (0.4%)
バイオマス	14.6GWh (2.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	193.8GWh (35.5%)
石炭火力	152.0GWh (27.9%)
石油等火力	44.5GWh (8.2%)
原子力	31.0GWh (5.7%)
揚水・蓄電	15.0GWh (2.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

545.5GWh

需要ピーク

18:00、3,092万kW

連系線・その他

129.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

18.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク918万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.9%だった。



2026年9月5日の供給実績

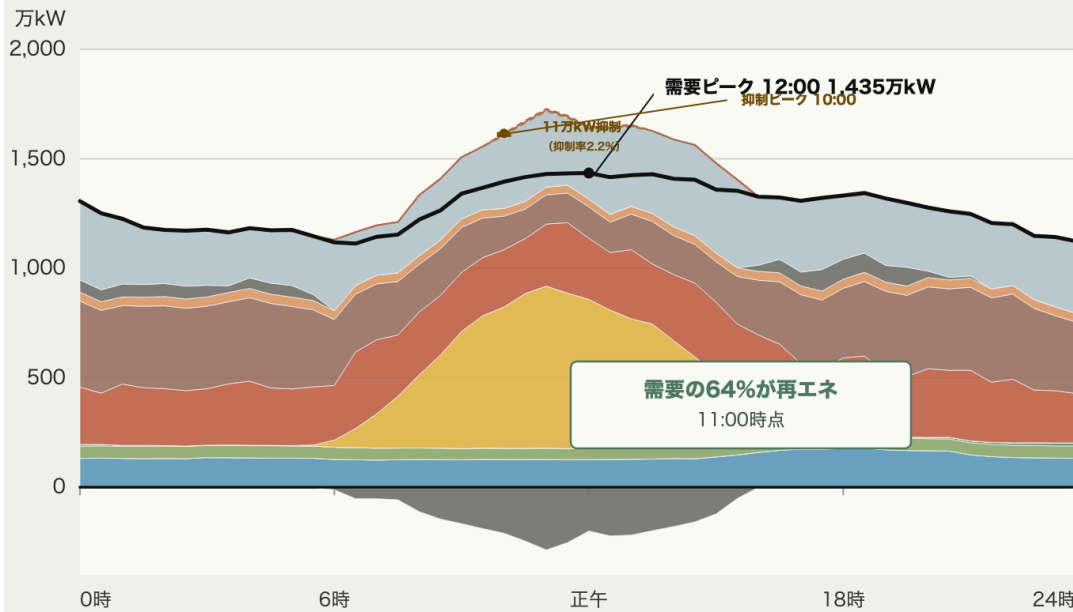
中部エリア

再エネ

94.4GWh

(発電電力量ベース38.0%)

中部エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 248GWh
(2,483万kWh)

再エネ	94.4GWh (38.0%)
太陽光	47.1GWh (19.0%)
水力	33.5GWh (13.5%)
風力	0.8GWh (0.3%)
バイオマス	13.0GWh (5.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	68.8GWh (27.7%)
石炭火力	69.2GWh (27.9%)
石油等火力	9.6GWh (3.9%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	6.3GWh (2.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	0.4GWh
バイオマス	0.2GWh
火力	0.2GWh
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量) 出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
248.2GWh

需要ピーク
12:00、1,435万kW

連系線・その他
73.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.7GWh

出力抑制
0.4GWh

概況

中部は、太陽光ピーク740万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.2%だった。



2026年9月5日の供給実績

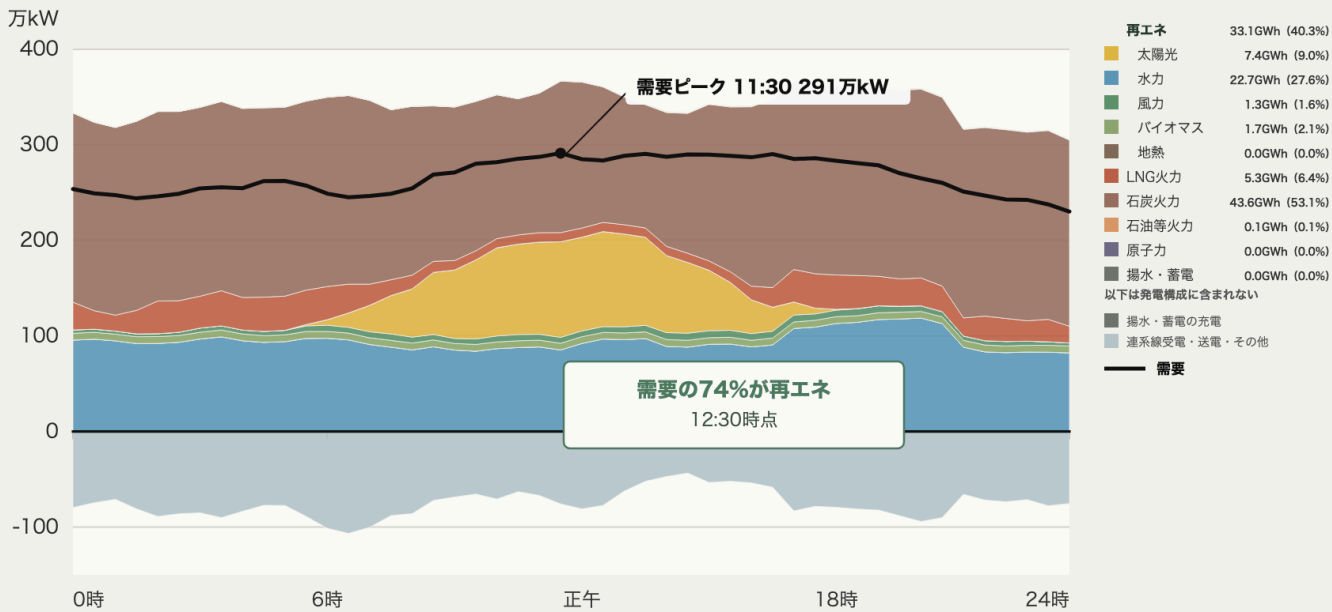
北陸エリア

再エネ

33.1GWh

(発電電力量ベース40.3%)

北陸エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.2GWh

需要ピーク

11:30、291万kW

連系線・その他

18.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク100万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.8%だった。



2026年9月5日の供給実績

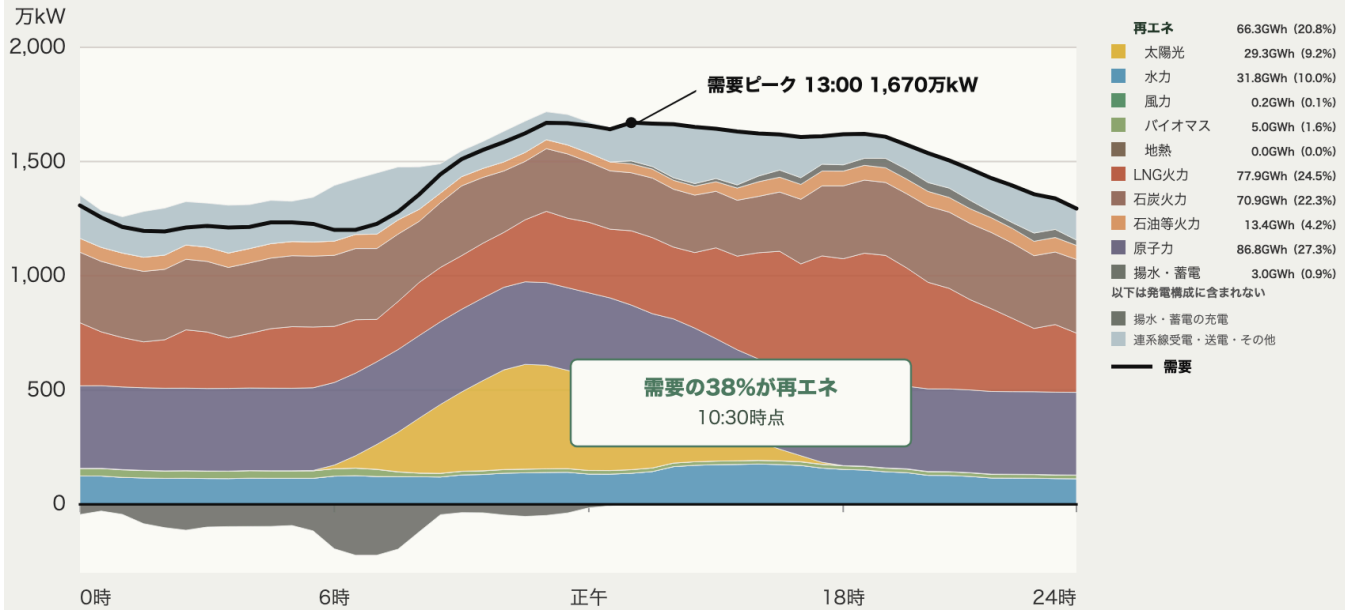
関西エリア

再エネ

66.3GWh

(発電電力量ベース20.8%)

関西エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

318.3GWh

需要ピーク

13:00、1,670万kW

連系線・その他

40.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク458万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.7%だった。



2026年9月5日の供給実績

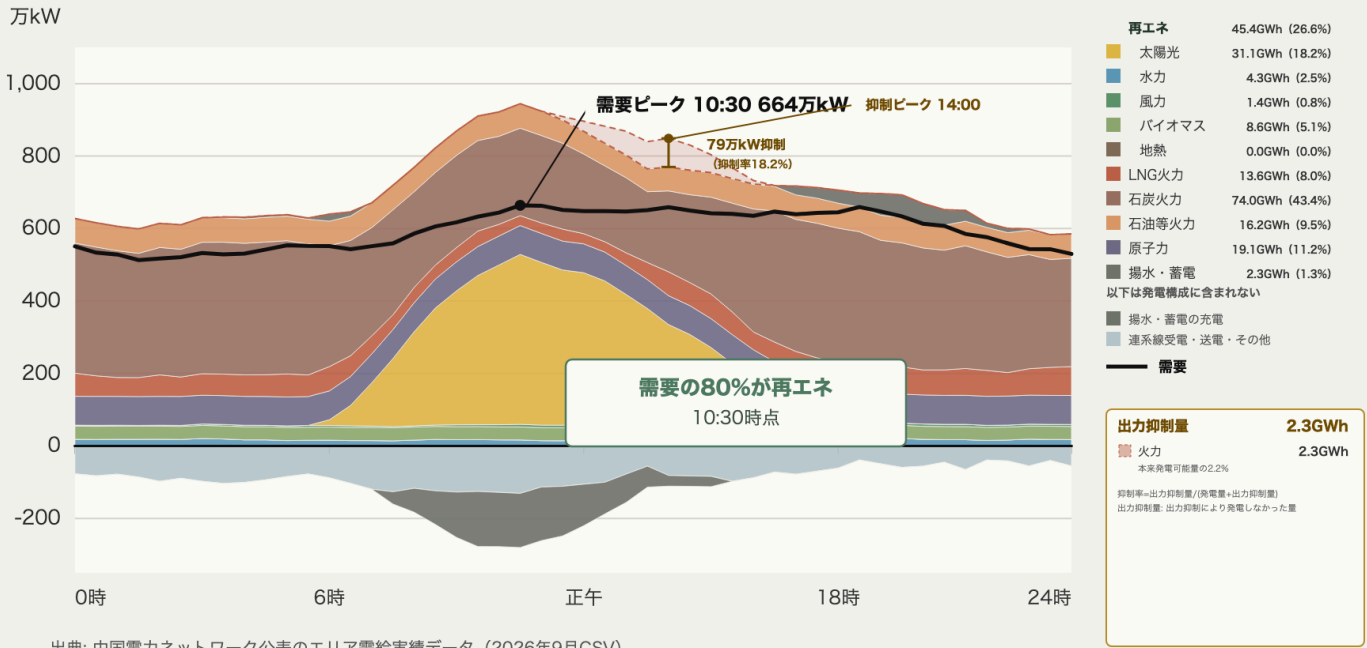
中国エリア

再エネ

45.4GWh

(発電電力量ベース26.6%)

中国エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

170.6GWh

需要ピーク

10:30、664万kW

連系線・その他

20.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

7.4GWh

出力抑制

2.3GWh

概況

中国は、太陽光ピーク469万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.6%だった。



2026年9月5日の供給実績

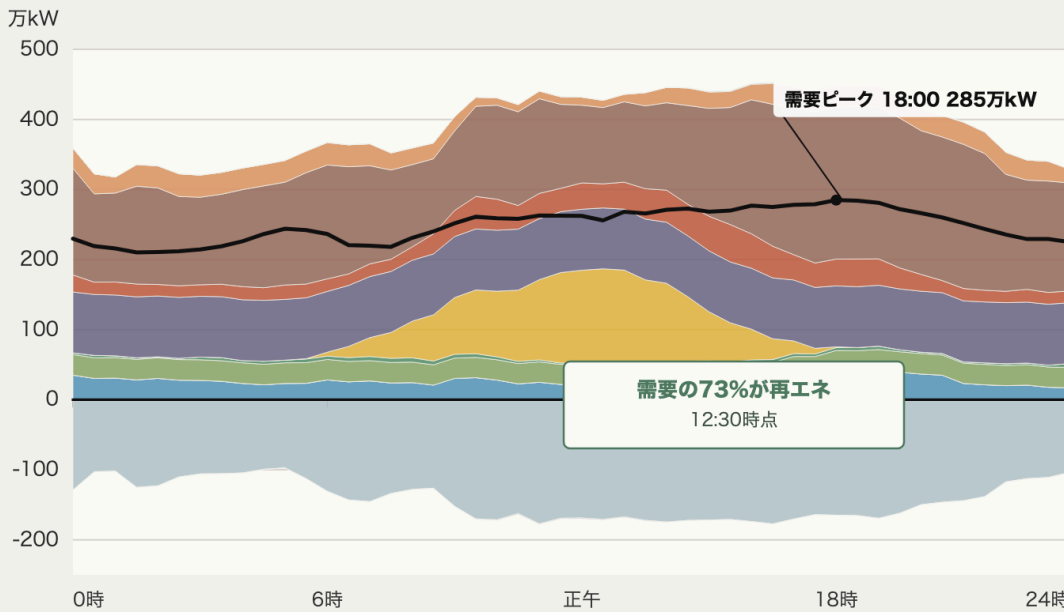
四国エリア

再エネ

23.1GWh

(発電電力量ベース24.5%)

四国エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 94GWh
(939万kW)

再エネ	23.1GWh (24.5%)
太陽光	8.9GWh (9.4%)
水力	6.4GWh (6.8%)
風力	0.8GWh (0.9%)
バイオマス	7.0GWh (7.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	6.9GWh (7.3%)
石炭火力	37.0GWh (39.4%)
石油等火力	6.0GWh (6.4%)
原子力	20.9GWh (22.2%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

93.9GWh

需要ピーク

18:00、285万kW

連系線・その他

34.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク136万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.0%だった。



2026年9月5日の供給実績

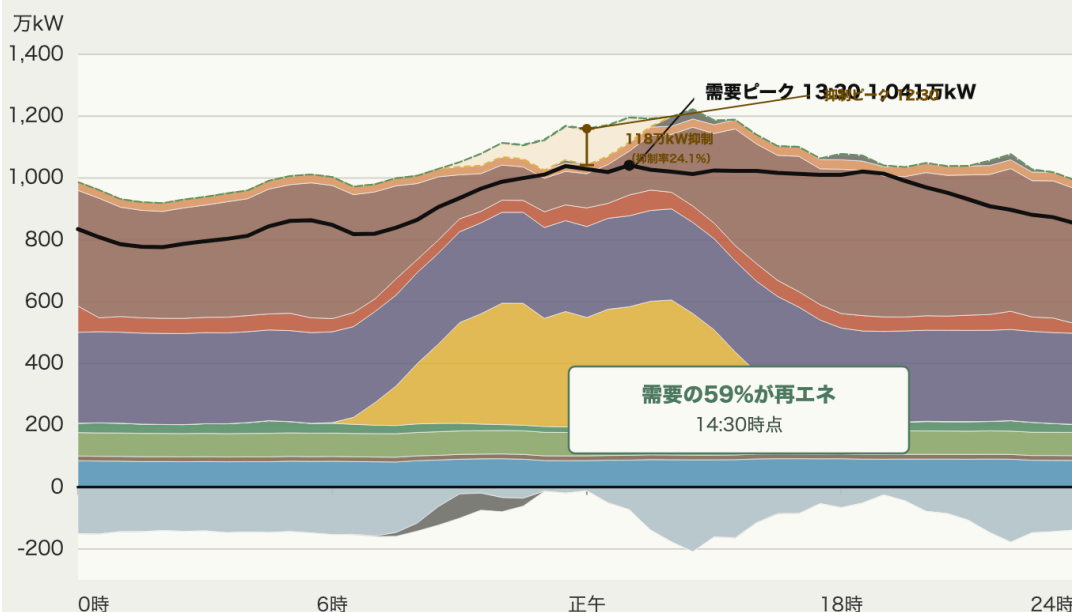
九州エリア

再エネ

79.8GWh

(発電電力量ベース32.0%)

九州エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 250GWh
(2,496万kWh)

再エネ	79.8GWh (32.0%)
太陽光	30.6GWh (12.3%)
水力	20.9GWh (8.4%)
風力	6.4GWh (2.6%)
バイオマス	18.2GWh (7.3%)
地熱	3.7GWh (1.5%)
LNG火力	11.9GWh (4.8%)
石炭火力	79.7GWh (31.9%)
石油等火力	6.6GWh (2.6%)
原子力	70.6GWh (28.3%)
揚水・蓄電	0.9GWh (0.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量	3.4GWh
太陽光	3.4GWh
風力	0.1GWh
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量) 出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

249.6GWh

需要ピーク

13:30、1,041万kW

連系線・その他

26.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.6GWh

出力抑制

3.4GWh

概況

九州は、太陽光ピーク404万kW、風力ピーク41万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.2%だった。



2026年9月5日の供給実績

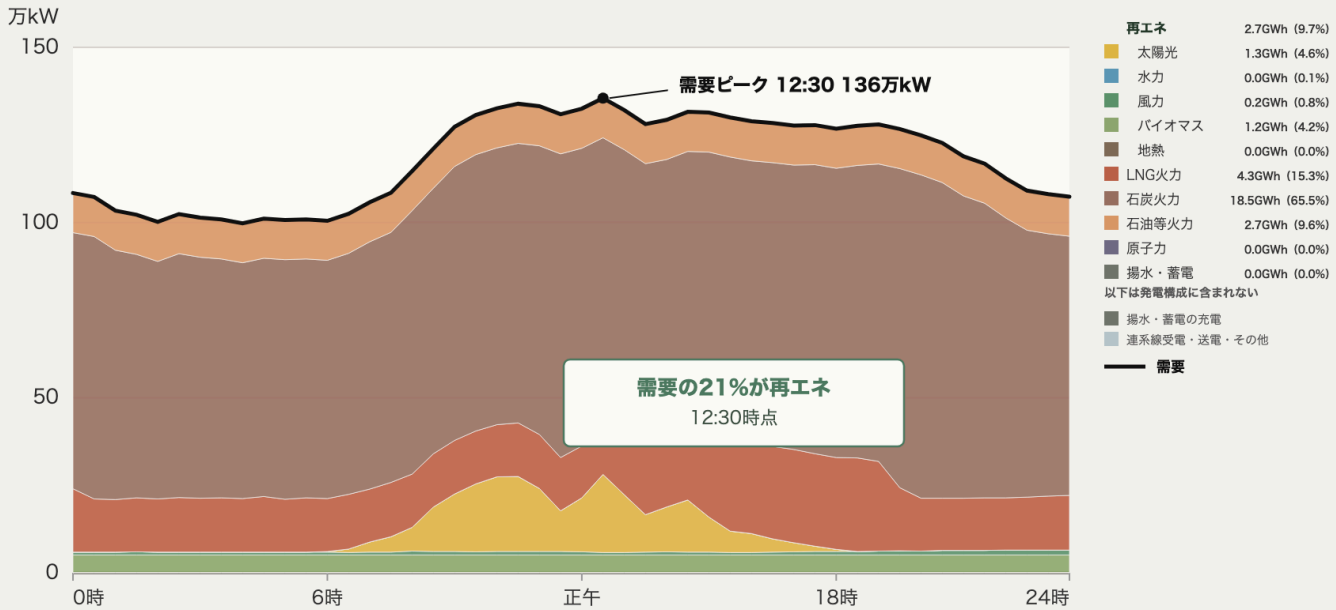
沖縄エリア

再エネ

2.7GWh

(発電電力量ベース9.7%)

沖縄エリア 2026年9月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

28.3GWh

需要ピーク

12:30、136万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク22万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.7%だった。